

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院形成科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身やご家族等がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族等が診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

2009年4月から2026年3月までの期間に、乳癌術後の乳房欠損のために虎の門病院形成外科に入院・通院し、乳房再建を受けられた方のうち、乳頭乳輪が欠損している方、また乳頭乳輪を再建された方。

この研究では、亡くなられた方の診療情報も、貴重な情報として、研究対象として扱わせていただきます。

【研究課題名】

乳癌術後再建乳房に対する乳頭再建の実態調査

【研究の目的・背景】

乳房再建において、再建乳房の形態や対称性の評価では乳頭の有無は大きな影響を占めます。しかし実際には乳房再建を行っても、乳頭再建を希望しない方もおられます。乳頭再建を行った方と希望しない方について、乳頭再建の希望等に影響する因子について調査するとともに、乳頭再建に対する現況を把握することで今後乳房再建の質的向上について検討します。

【研究期間】

2026年6月18日 ～ 2028年3月31日

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は虎の門病院形成外科において研究終了後5年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄しま

す。

【診療情報を虎の門病院外へ提供する場合】

該当なし

【利用する診療情報】

診療情報： 診療記録、看護記録などより、再建乳房に対する乳頭乳輪の再建状況、合併症の状況や追加処置/手術の状況等

【虎の門病院における研究責任者・研究機関の長】

研究責任者：形成外科・江口智明

研究機関の長：院長 門脇 孝

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族等の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族等の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2026年9月30日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 形成外科・江口智明

電話 03-3588-1111(代表)・